

福祉実践教室で何を学びますか？

11月26日(火)27日(水)の2日間、社会福祉協議会のご協力のもと1年生が「福祉実践教室」に取り組みました。視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、高齢者の疑似体験を通して、日常生活をしていく中で「何に困っているのか」「(自分たちは)何ができるのか」考える機会になったのではないかと思います。

障がい者、高齢者の方々について、正しく理解し、ともに支えあって生きていくための「実践力」をこれからも学び続けてほしいと思います。



緊急事態時、何ができますか？(2年生救急救命講習)

12月5日(木)～9日(月)の3日間、日本赤十字社の指導員および大治町日赤奉仕団の方々の指導のもと、2年生が保健体育の授業として救急救命講習を行いました。

「緊急事態の時、そこにいる人の命を救うため」のねらいをもって、胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの活用などについて学びました。

助けを求めるための大きな声を出すことを恥ずかしがったり、はじめはなかなか力が入らなかったり悪戦苦闘していましたが、奉仕団の皆さんの指導を受け、授業の終わりにはしっかりできるようになったと思います。今回、身に付けた知識と技能、そして少しの勇気をもって対応してくれることを願っています。



学校公開および人権道徳講演会



12月4日(水)の2時間目に授業公開を、3・4時間目には人権・道徳講演会を実施しました。

人権・道徳講演会では、JICA職員の後藤千明さんをお迎えし、「好きなものに出会って人生が変わった」という演目でお話をいただきました。海外経験から得たことや知っておいてもらいたいことなどを教えていただく中で、日本国内では得られにくい感覚に触れ、人権意識や感覚を育てることを目的としました。

また、1年生では、9日に実施予定の福祉実践教室発表会のリハーサルの様子を観てもらいました。学校が目標としているプレゼンテーション能力の向上をめざし、一生懸命取り組んでいる様子があったように思います。

午後からは小学校から80名の保護者の皆様に、授業の様子、部活動の様子を参観してもらい、中学校生活について、知ってもらおう機会になったと思います。ありがとうございました。



※次号から「tetoru」による配信を行う予定です。